

大江工場に「衛生用紙抄紙機」および「加工設備」の新設を決定

丸住製紙株式会社（本社：愛媛県四国中央市、代表取締役社長：星川知之）は2023年3月の完成を目指し「衛生用紙抄紙機」および「加工設備」を新設することを決定しました。

自社製パルプを利用した高品質なペーパータオル等の衛生用紙を製造することで、製品ラインアップの拡充を図ります。

■ 生産・加工設備の概要

所在地：当社大江工場（愛媛県四国中央市）

設備投資内容：抄紙機、加工設備

生産品種：ペーパータオル等の衛生用紙

生産能力：年間約2万6千トン

投資額：約90億円

稼働開始時期：2023年3月（予定）



丸住製紙株式会社 大江工場

■ 今後の方針・見通し

2021年1月8日プレスリリースで既報のとおり、大江工場には2021年9月ペーパータオル加工設備が完成予定であり、今回の新設も合わせて、フル稼働時には年間約4万トンの生産を見込んでいます。今後も製品ラインアップの拡大を目指しながら、お客様のご要望にお応えするとともに、衛生用品の安定供給に努めて参ります。

会社概要

- 社名：丸住製紙株式会社
- 所在地：愛媛県四国中央市川之江町826番地
- 設立年：1946年（創業1919年）
- 資本金：12億円
- 売上高：494億円（2020年度）
- 従業員：662名
- 主な業務内容：新聞用紙・出版用紙・印刷用紙・情報用紙・包装用紙・衛生用紙・クラフトパルプの製造ならびに販売、バイオマス発電、太陽光発電
- URL：<https://www.marusumi.co.jp/>

メディアの方のお問い合わせ先

- 電話番号：03-3545-7250
- 担当者：経営戦略本部長／合田勝典
- <広報>
- 電話番号：0896-88-0123
- 携帯番号：080-7175-3044
- FAX：0896-57-2290
- メールアドレス：kouhou@marusumi.co.jp
- 担当者：総務人事課広報係長／篠原雅之